

市議会

だより



2017. 2. 1 NO. 51



平成28年第4回定例会は、去る12月6日か ら 22 日までの 17 日間の会期で開かれました。 今定例会には、平成28年度一般会計補正予算 案を初め、市長提出議案 18 件、承認 1 件、諮問 1件、議員提出議案4件、選任1件、請願2件、

主な内容

①平成 28 年 第 2 回臨時会・・・・・ P35 ②議決結果一覧、賛否の状況等・・P34 ~ P32 ③一 般 質 問・・・・・・P32~P29 4 委員会の審査概要・・・・・ P29 ~ P28

⑤政務活動費を公開します・・・・・P27



陳情1件が上程されました。

水田法律事務所 弁護士会所属 弁護士水田大輔 (0896) 2 2 - 4 0 0 3四国中央市川之江町1856-35 三木ビル3階

相続・同族取引・離婚・交通事故 債務整理・その他民事一般 上記問題における不動産評価に関して



平成 28 年 第 2 回 臨時会

12月1日に開会されました平成28年第2回臨時会において、議長・副議長が選出されました

議長・副議長就任挨拶



議 長 山本 照男

議長の略歴 昭和33年6月25日生(58歳) 平成14年11月24日初当選 四国中央市議5期目 議長 副議長 総務委員会委員長 などを歴任



副議長 吉田善三郎

副議長の略歴 昭和21年6月9日生(70歳) 平成14年11月23日初当選 四国中央市議5期目 教育厚生委員会委員長 環境経済委員会委員長 建設水道委員会委員長 などを歴任

市民の皆様に負託に応えられる市議会を目指して平成28年11月の市議会議員選挙により、議会の構成も新たになりました。

私どもは、平成28年12月臨時議会におきまして、四国中央市議会議長並びに副議長に就任いたしました。その職責の重さを思うと身の引き締まる思いでございます。もとより微力ではございますが、議会の果たすべき役割を十分認識し、四国中央市の発展と市民福祉の向上のために、最善の努力を尽くす決意でございますので、よろしくお願い申し上げます。

「四国のまんなか 人がまんなか」人を結ぶ 心を結ぶ あったか協働都市を目指し、未来に誇れる四国中央市を構築していくためには、人口減少対策や生活の基盤となる雇用の創出が求められています。また、近い将来発生するであろうと言われております南海トラフ巨大地震などへの備え、対策も急がれるところであります。

行政と議会は市政を進める車の両輪にたとえられます。私たち市議会は、市の活性化と住民福祉の一層の発展を図るために、市政の監視と評価に加え、具体的な政策提言が今以上に必要となってくると考えます。行政当局との真摯な議論により有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くすとともに、自己研鑚に励み、議会の改革・活性化に努め市民の皆様により一層信頼される議会を目指してまいります。

常任・議会運営委員会委員

◎委員長 ○副委員長

総務市民委員会 教育厚生委員会 産業建設委員会

◎山川 和孝 ○篠永 誠司 国田 泰政 原田 泰六 青末 曽 五川 秀光 議会運営委員会

議会選出監査委員



苅田 清秀 議員







平成 28 年 第 2 回 四国中央市議会臨時会 議決結果一覧

番号	件名	議決	結果					
選挙第2号	四国中央市議会議長の選挙について	選	挙					
選挙第3号	四国中央市議会副議長の選挙について							
選任第1号	四国中央市議会常任委員会委員の選任について	選	任					
選任第2号	四国中央市議会議会運営委員会委員の選任について	選	任					

平成 28 年 第 4 回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
承認第6号	四国中央市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承 認
議案第 91 号	四国中央市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 92 号	四国中央市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 93 号	四国中央市立小学校設置条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 94 号	四国中央市体育施設条例及び四国中央市都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 95 号	四国中央市水道事業給水条例及び四国中央市簡易水道事業等給水条例 の一部を改正する条例について	原案可決
議案第 96 号	平成 28 年度四国中央市一般会計補正予算(第 5 号)	原案可決
議案第 97 号	平成 28 年度四国中央市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決
議案第 98 号	平成 28 年度四国中央市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第 99 号	平成 28 年度四国中央市介護サービス事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第 100 号	平成 28 年度四国中央市介護予防支援事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決







平成 28 年 第4回 四国中央市議会定例会 議決結果一覧

番号	件名	議決結果
議案第 101 号	平成 28 年度四国中央市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 102 号	平成 28 年度四国中央市簡易水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 103 号	平成 28 年度四国中央市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第 104 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第 105 号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第 106 号	四国中央市新庁舎建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第 107 号	川之江地域交流センター(仮称)新築工事(建築・機械設備工事)請負 契約の締結について	原案可決
議案第 108 号	四国中央市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同 意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なき旨 答 申
議員提出議案第6号	四国中央市議会会議規則の一部を改正する規則について	原案可決
議員提出議案第7号	議会改革調査特別委員会の設置について	原案可決
議員提出議案 第8号	地方創生特別委員会の設置について	原案可決
議員提出議案 第9号	広報ICT推進特別委員会の設置について	原案可決
選任第3号	議会改革調査特別委員会、地方創生特別委員会及び広報 I C T 推進特別委員会委員の選任について	否 決
28 年 請願第 4 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願	継続審査
28 年 請願第 5 号	年金制度改革関連法案(「年金カット」法案)の廃案と最低保障年金制度の実現、年金支給の毎月払いなどを求める請願	不 採 択
28 年 陳情第 1 号	家族従業者の人権保障のため「所得税法第 56 条の廃止を求める意見書」 採択を求める陳情	継続審査



新鮮!元気! JAうま農産物直販所

ジャジャうま市 9 時~ 16 時 (年末年始定休) 中之庄町 1684-4 Tel:23-3377

おいでや市 9 時~ 16 時 (火曜・年末年始定休) 妻鳥町 1121 Tel:59-6001

ふれあい市 9 時~13 時 (火曜・年末年始定休) 金生町下分 2550-2 Tel:58-3953

したがみ鍼灸マッサージ院

営業時間:9:00~12:00 13:30~18:30 定休:木・土午後&日・祝

TEL 77-5111 予約優先

妻鳥町2870-1

各議員の議案に対する賛否の状況

※賛否の分かれた案件を記載しています。○: 賛成 ×: 反対

		氏		名	飛	士	石川	国	眞	Ξ	山	Ξ	谷	Ш	篠	山	苅	古	井	原	青	石	谷	曽我	石川	西
議	案	番	号		鷹	原	剛	政	鍋	好	Ш	宅	乜	ᅬ	永	本	田	田	Ш	田	木	津	I	沿船	秀	岡
議	案	第	106	号	×	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0		0	0	0	0	×	0	0	0	0	0
議	案	第	107	号	×	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0	議	0	0	0	0	×	0	0	0	0	0
選	任	第	3	号	0	×	×	0	×	0	×	×	0	0	×	長	×	×	0	0	0	×	0	×	×	0
28	年請	青願:	第 5	号	0	×	×	×	×	0	×	×	×	×	×		×	×	×	×	0	×	×	×	×	×

本会議での発言を記録した12月臨時会、12月定例会の『会議録』を、3月上旬に市役所本庁、 各庁舎及び図書館に備えます。

また、四国中央市議会ホームページにも全文掲載しており、検索も可能ですのでごらんください。

一般質問



紙面の都合上 1 議員 1 問の質問を掲 載しています。

◆市外の特別支援学校に通っている問題と子ども若者発達支援センター「パレット」の内容について 質問 市内小中学校生計 152 人が市外の特別支援学校に通う問題。また、現在建設の進む、子ども若者発達支援 センター「パレット」の内容を問う。

答弁 市長、副市長、福祉部長、生活福祉課長、こども課長



吉原 敦 議員

「共生社会」の実現には、地域に連続性ある多様な学びの場が必要であり、本年度も県へ特別支援学校分校開設を重要項目として要望しており、そのための先進事例の研究や協議を続けていく。市外特別支援学校通学生徒の卒業後の地元就労に関する情報発信としては、自立支援協議会が中心となり当事者や保護者・支援者等を対象に、事業所説明会や就職準備フェア等を開催している。次にパレット対象者は、障がいの有無にかかわらずそれぞれが有する特性により、社会生活を送る上で何らかの困りごとがある子供と若者やその家族が対象予定である。人材確保と育成は、専門職の配置等を予定しており、専門研修や地域支援者対象の研修会等も考えている。一般市民との交流は、イベント開催等や企業との交流も積極的に考えている。就労支援は、就労支援機関や企業へつなぐ仕組みを検討しており、就労支援関係機関と連携しながら雇用の確保も考えている。不登校児については、「こども支援室」等を配置する予定である。子ども若者育成支援促進法に基づき、関係機関の支援ネットワークによるニートや引きこもり支援にも取り組む予定である。

◆新庁舎建設工事の総括を求める

質問 予定価格は事前公表、地元とのJVを必須条件とした理由は。1者入札の上で 99.99%の落札率は異常ではないか。競争性が担保されている根拠は。市民文化ホールは事後公表とし、結果は 96.23%で落札された。 予定価格の事前公表はやめるのが当たり前ではないか。

答弁 財務部長、契約検査課長



三好 平議員

当市の公共工事の発注条件については工事の規模や工種を問わず、予定価格については事前公表、発注については地元業者優先を基本として入札を執行している。入札における応札金額については、予定価格と低入札調査基準価格の範囲内であれば率の高低にかかわらず適正であると考えており、一般競争入札については、広く公告し入札参加者を募集するもので、その入札が1者でも必要な競争性は確保されたものと考える。予定価格は上限価格として定められており、不当に高額な価格で契約されることを防止する機能を有している。事前公表については県内全市町が継続して実施することを確認しており、当面の間はこの基本方針どおり実施したいと考えている。

- **その他の質問** ○学校給食は川之江の進んだ自校方式を続け、過度の設備投資の見直しを
 - ○住民の命・暮らし守れる職場体制を、「誇りと使命感」の持てる処遇と雇用を
 - ○住宅リフォーム助成制度の充実を求める

◆中核病院の建設について

質問 旧県立三島病院を公立学校共済組合に移譲後既に6年半が経過したが、約定にある中核病院の建設は進展が見られない。中核病院建設計画の進捗状況、市の協力体制、県への協力要請はどのような考えか市長に伺う。



山川 和孝 議員

答弁 市長、市民部長

中核病院建設計画については、公立学校共済組合本部を訪問し、早期建設をお願いしてきたが、まずは多額の赤字を出していると思われる四国中央病院の経営改善に取り組むとの本部の意向があり、建設の見通しは遠くなっていると感じた。建設に際しての問題点は3点あり、1点目は病院の位置、2点目は資金、3点目は医師不足である。それぞれ、市民の方や他の病院等に御理解いただけるよう検討していきたい。共済組合本部へは、四国中央病院及び市の3者協議会を定期的に開催することを提案させていただき、医師不足については当地域全体の問題であるため、医師確保についても取り組んでいきたい。また県においては、ハード・ソフト両面においてさまざまな取り組みがなされたところである。現在も寄附講座開設等医師確保の支援をいただいているが、今後もさらなる人的支援について働きかけを行っていきたいと考えている。

その他の質問 ○保育園の待機児童解消について ○消防団の状況について ○鳥獣被害について

◆生活習慣病の見直しに向けて

質問 四国中央市健康づくり計画(第2次)で生活習慣病増加等に対する基本方針が打ち出されているが、認知 症予防のためには生活習慣病予防が非常に大事であるという観点より、その予防に向けての取り組みを食 生活改善対策も含めお聞かせいただきたい。



眞鍋 幹雄 議員

答弁 市民部長

生活習慣病予防に向けての当市の取り組みとして、毎年総合健診や健診結果相談会などで、御自身の生活習慣を振り返る場としてもらっている。生活習慣改善が必要な方へは、保健師・栄養士による個別指導により、御自身で決められた生活習慣改善目標に向かっての支援を行い、さらに市民への普及啓発活動として「ヘルシー大学」等各種健康教室や「まちづくり出前講座」を実施している。食生活改善対策については、各家庭や食生活改善推進協議会等関係団体と連携・協働しながら食育の推進及び支援に取り組んでいる。今後も健康に関する知識の普及啓発に努めていきたい。

その他の質問 ○財政調整基金について ○立地適正化計画について ○生ごみの堆肥化について

◆公営住宅の活用について

質問 同規模他市に比べて公共建築物の総床面積が 1.5 倍ほど多い本市であるが、その中でも老朽化が進む公営 住宅の耐震化の状況及び今後の整備計画について問う。また、公共財産の意義ある活用として店舗経営や 介護事業所への貸し出し、 I、 Jターン促進のための格安貸し出しは。



石川 剛議員

答弁 市長、建設部長

公営住宅は、平成 22 年度から 25 年度において対象団地全ての耐震改修工事を実施し、耐震化率は 100%である。今後の整備計画は、愛媛県では今年度に住宅マスタープランが策定される予定であり、上位計画の内容を踏まえた上で平成 29 年度末までに住宅マスタープランの策定予定である。計画期間は平成 30 年度から 10 年間の予定である。また、店舗経営は現在のところ公営住宅法上、貸し出し不可能と考えられる。介護事業所は、公営住宅法第 45 条により社会福祉事業等であれば使用許可は可能であるが、国土交通大臣の承認が必要なためハードルが高いものと考えられる。 I、 Jターン促進のための格安貸し出しは、現段階において公営住宅の家賃体系上難しいと考えるが、社会ニーズに対応した貸し出しについて引き続き調査、検討を重ねたいと考えている。

その他の質問 ○地震、豪雨等による土砂災害に対する備えについて ○自転車新文化の推進について

◆デマンドタクシーの利便性向上について

質問 高齢者の交通事故がふえている。事故防止対策として公共交通を充実させるべきと考える。高齢者が車や 二輪の運転をしなくてもいい環境をつくる。今ある公共交通で、すぐ対応できる市のデマンドタクシーの 充実を求めるとともに、これからの方針を問う。



飛鷹 裕輔 議員

答弁 副市長

デマンドタクシーは、運行エリアを超えた乗り継ぎの改善などの御要望があるが、民間の他の交通手段との共存、すみ分けの中で、さまざまな制約のもと運行を行っている。路線バスや一般のタクシーなど道路運送法に基づき国から許可された民間の交通手段と競合しない「予約型の乗り合い方式」により運行が認可されたものである。しかしながら、このような制約の中、少しでも改善できる運行方法等が見出せないか、また鉄道、路線バスなど既存の移動手段とは別の移動手段、例えばコミュニティバスなどを希望する声も耳にするので、さまざまな可能性を含め引き続き研究、検討を考えている。

その他の質問 ○介護現場の実態とその処遇改善について ○住民の命を守る施策の充実を求める ○学童・児童クラブの充実を求める

◆医師不足と中核病院建設の推進取り組みについて

質問 当市においても医師が不足し、病院経営も大変な中、地域医療に従事していただいている医師の皆様、医療機関には大変感謝するとともに、地域医療の大変さをお察しする。しかしながら地域医療の充実は待ったなしの状況なので、あえて伺う。

国政 守議員

答弁 市長

四国中央市の医師数は、愛媛県下の二次医療圏においては依然として最も少ない状況である。現在、研修医が自由に研修病院を選択できることから大学医局自体も医師不足となり、医師の派遣をしていた関連病院から医師の引き揚げを余儀なくされている。今後、四国中央市において医療に従事する意欲を持った医師を確保するため、市独自の支援方法について担当部署で鋭意検討している状況である。四国中央病院における中核病院の建設計画については、経営改善を最優先する必要が生じていることや、経費等の問題も出てくるので、今後も具体化に向けた協議を重ねていく必要がある。

その他の質問 ○健康寿命を延ばす社会システムについて ○体育館の使用について ○市道の劣化対策について ○防災について

◆市民からの要望を数点伺う

質問 デマンドタクシーは交通手段を持たない高齢者から大変好評で、当市の地域交通には欠かせないが、エリア 間の移動や土日運行の要望など不満の声もある。この際、大幅な改善、拡充を図られたい。また、三島小学 校周辺でグリーンベルト未設置箇所への設置について伺う。

答弁 市長、副市長



井川 剛議員

デマンドタクシーの土日運行、エリア拡大などは、経費負担増大や車両・人員の確保等が必要であるほか、他の民間交通事業に大きな影響を与えないことが求められている。しかし、このような制約の中でも、現状より少しでも改善できる運行方法等がないか、例えばコミュニティバスなど、さまざまな可能性を含めて研究検討していきたい。次に、グリーンベルトの整備は、補助の関係からプログラムに基づく道路管理者・警察等の関係機関と連携した合同点検の実施が条件となり、学校からの申請が必要となる。地域の方から通学路関係部署に要望が寄せられる場合もあるので、要望を受けた部署が学校教育課に知らせ、学校へ速やかに連絡する体制の徹底を図る。今回の三島地域については、社会資本整備事業の補助を活用して対応したいと考えている。

その他の質問 ○寄贈物の維持管理について ○議員が保証債務を負うことについて

◆中核新病院建設に愛媛県と四国中央市の支援が求められている

質問 公立学校共済組合は、新病院建設に県・市の具体的支援を求めており、篠原市長提案の四国中央病院・公立学校共済組合・四国中央市による協議会設置に愛媛県も入ってもらい本音の協議を進めるべき。同時に 超党派での一大署名運動等で市民の願いを示す必要を感じる。



青木 永六 議員

答弁 市長、市民部長

愛媛県の支援については、約25億円の地域医療再生基金の投入によるハード・ソフト両面での多様な事業の実施が図られている。その上、旧県立三島病院の移譲に際しては、約5億5,000万円の財政支援が行われたほか、徳島大学への寄附講座の開設や医師の派遣など継続して取り組んでいただいている。今後もさらなる人的支援について働きかけを行っていきたい。また、市民の一大署名については、苦労いただいても結果に結びつかないことも考えていなければならない。現段階で超党派での署名をお願いするつもりはない。

その他の質問 ○我が党市議候補への選管委員長からの警告について

○税金の使い方変えて、高すぎる国保料・介護保険料の引き下げを

◆学校給食について

質問 8月から9月の台風や長雨による野菜の高騰は、少しは落ちついてきているものの、まだ野菜価格は高いのが現状である。そうした中で食材は極力、地元野菜を活用しているが、なかなか取れ高が少ないと聞く。現在も野菜価格が高騰ぎみになっているわけだが、本市の給食に影響があるのか伺う。

答弁 教育委員会事務局管理部長



谷内 開議員

葉物野菜の一部においては、まだ価格が若干高いものの、根菜類については落ちついてきている。根菜類や葉物野菜はよく使われる食材であることから、その調達に当市も影響を受けている。食材費として徴収している学校給食費は1年間の学校給食会の運営の中で調整しているため、給食が提供できない等の状況は生じないと考えるが、あまりにも高騰している野菜については、可能な範囲で別の野菜を代替品として使用する等の対応を行っている。今後においても納入業者にも御協力いただき、安価でおいしい旬の野菜の利用等に努め、他の食材においても同様の献立上の工夫等をきめ細かに行うなど、子供たちや保護者の皆様に喜ばれる給食の提供を行っていきたい。

その他の質問 ○図書館のさらなる活用について ○B型肝炎ワクチンについての無料化について ○免許証自主返納に対するケアについて

◆城北地区地盤沈下問題と連動する浜地区の災害防止について

賀問 城北地区及び浜地区一帯における地震、津波の危険性については、前回9月議会で指摘をしたが、加えて 最近の異常気象は、極端な高潮をも引き起こす可能性がある。取りつけ道路の整備を含め解決策としての「三 島川之江港港湾計画」の完工を強く願うものである。

答弁 市長、建設部長

過去には漁港の指定取り消しがかなわず埋立事業を断念した経緯がある。現在も依然として 難しい問題であるが、防災・減災のためのハード面の対策としては、県が計画する海岸保全の 施設整備なども合わせて検討すべきである。城山や道路の整備も必要と考えているが、瀬戸内 海の埋め立ては制限されており、社会情勢や環境の変化により、計画に描かれた土地利用等が 実現できない場合もある。埋め立ての必要性などの要件を精査したい。

谷 國光 議員

その他の質問 ○四国中央市役所の「ブランドカ」について ○デマンドタクシーの利便性向上を求める声を受けて

議会を傍聴してみませんか!?

本会議及び委員会は原則として公開していますので、どなたでも傍聴することができます。傍聴 を希望される方は、本会議及び委員会当日に、市役所5階で傍聴人受付簿に氏名、住所を御記入の上、 傍聴してください。また、本会議の模様は市役所2階ロビー及び各庁舎、ケーブルテレビ、インター ネットでごらんいただけます。

四国中央市 議会中継 🔾 (検索🔪

〔12 月定例会の委員会の委員長報告をケーブルテレビで放送しています(放送時間等は不定です)。〕

常任委員会の審査概要 ※紙面の都合上、質問は抜粋しています。

総務市民委員会

◎井川 剛 〇石川 剛 三好 <u> 17</u> 三宅 繁博 ◎委員長 山本 照男 苅田 清秀 石津千代子 谷 國光 〇副委員長

●議案第96号「平成28年度四国中央市一般会計補正予算(第5号)」所管分

質問 ふるさと納税の額や中身を伺う。

答弁 件数が昨年度と比べ、1.4倍程度伸びている。制度の全国的な周知はもちろん、当市への申し込みが、 ウェブサイトからの直接申し込みが可能となり、ネット利用のクレジット払いも可能としたことが要 因かと思っている。予算内容は、記念品、送料や手数料である。

質問 ふるさと納税の品物は、もっとバラエティに富んだほうがいいと思う。

答弁 ふるさとチョイスに登録したのは、利用者の利便性の向上が一番の目的で、結果、寄附件数の増加 につながった。あくまでお礼という位置づけで、今のところ品数をふやすつもりはない。

質問 公会計システム構築業務の現状と、いつごろできるか伺う。

答弁 現在、固定資産台帳を作成中で、平成29年3月完成予定である。並行して1月から固定資産台帳 を管理しかつ財務書類を作成するシステムの導入を進め、平成28年度決算の状況を平成29年度末ま でに財務諸表に仕上げる予定である。

質問 公債費利子 9,000万円減となったその要因と、繰上償還がどの程度効果を発揮しているか伺いたい。 答弁 繰上償還の効果は、今年度利子ではなく、来年度以降にあらわれ、来年度の低減額は、1,000万円 程度となる。今回補正の利子の減額には、幾つかの理由があり、まず、当初予算編成時の想定を借入 額が下回ったこと、これは借りないという判断をした6億円と繰り越した7億円の影響で利子が約 2,000万円の減額、実際に借り入れた市債の想定利率1%台の中盤から後半と見込んでいたものが、 最低のもので、年利 0.1%で借り入れることができたなど、低利率借入により約 6,000 万円の低減が あり、合計約9,000万円の減となった。

教育厚生委員会

◎西岡 政則 ○吉原 敦 飛鷹 裕輔公内 開 川上 賢孝 吉田善三郎

鷹 裕輔 眞鍋 幹雄

◎委員長○副委員長

●議案第96号「平成28年度四国中央市一般会計補正予算(第5号)」所管分

質問 子ども若者発達支援センター建設事業に係る施設用備品について内容を伺う。

答弁 今定例会計上の施設用備品については、事務机やロッカーなどの事務用備品が主であるが、あわせて入浴施設のストレッチャー等を購入予定である。

質問 障害児通所扶助費の療育について、その内容を伺う。

答弁 障がい児の療育については、主として在学児童に対する放課後等デイサービス事業と未就学児童に 対する児童発達支援事業があるが、両事業ともに児童の障がい特性に応じた個別療育等を行っている。

質問 みしま児童センター整備事業840万円について内容を伺う。

答弁 みしま児童センターについては、昭和62年築で老朽化による雨漏りが激しくなっていることから、 壁面改修及び屋上の防水シート敷設整備を行うこととしている。

なお、事業費については、平成 28 年度計上の 840 万円と平成 29 年度の債務負担行為を含めて総額 2.110 万円を予定している。

質問 新宮小規模特認校事業の内容を伺う。

答弁 当該事業の内容については、校区外から通学する児童生徒に対する通学補助であり、最大 10 名を 見込んでいる。通学補助体制については、登校時の2ルート1便及び下校時の2ルート3便を予定し ている。また、休業中の部活動の送迎も考慮した対応としている。

質問 今後の小規模特認校事業の需要額の見込み等がわかれば、お示し願いたい。

答弁 小規模特認校事業の通学補助については、毎年発生するものと考えているが、今回の計上額は初年 度となることから、想定の最大値を計上している。事業を継続する中で校区外からの通学状況の把握 により、精査できる余地はあるものと考える。

産業建設委員会

◎山川 和孝 ○篠永 誠司 国政 守 原田 泰樹 ◎委員長青木 永六 曽我部 清 石川 秀光 ○副委員長

●議案第 94 号「四国中央市体育施設条例及び四国中央市都市公園条例の一部を改正する条例について」

質問 平成29年8月までに、川之江プール等が解体された後も、工事は継続して続いていくのか。スケジュールを伺う。

答弁 城山公園整備事業として、平成28年度から5カ年計画で、国の事業認可を受けている。平成32年度に、駐車場等の整備をして完成する予定である。

●議案第95号「四国中央市水道事業給水条例及び四国中央市簡易水道事業等給水条例の一部を改 正する条例について」

質問 説明では、料金の改定ではないと言われるが、三島川之江地域と土居地域の料金格差はどう埋め合わせるのか。

答弁 今回の改定は、用途と区分を改定するものであり、基本料金は変わらない。ゆえに、料金格差を是正する段階には至っていない。

●議案第96号「平成28年度四国中央市一般会計補正予算(第5号)」所管分

質問 明らかに危険な空き家でも、申請がなかったら除去できないのか。

答弁 平成 28 年度から、空家等対策室が設置されたが、現在までに 100 件を超す相談があった。空き家 対策特別措置法第 14 条に市が措置できる規定はあるが、基本的には、所有者責任である。

質問 市営住宅で修繕した住宅の件数と実際に入居した件数を伺う。

答弁 件数は把握していないが、ここ数年で状況は変化している。需要が減って、供給過多になっている。 ただ、建築年度の新しい人気団地は、待ってもらうことはある。

平成28年度(4月~11月分) 政務活動費を公開します

政務活動費は、議員の調査研究に役立てるために必要な経費の一部として交付されるもので、当市議会では交付を希望する議員に平成28年度より年額24万円を上限とし、交付しております。(平成28年度は11月に改選があったため、4月から11月分の記載となります。)

※ 平成29年2月1日より四国中央市議会のホームページで公開しています。

平成 28 年度(4月~11月分) 政務活動費収支一覧表

(単位:円)

議席		7	/ J ##	++ /- +=	差引額			支出科目		
番号	氏	名	交付額	執行額	(戻入額)	調査研究費	要請陳情 活動費	広報広聴 活動費	研修費	資料購入費
1	石川	剛	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
2	国政	守	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
3	大野	勝	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
4	眞鍋	幹雄	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
5	三好	平	160, 000	160, 000	0			160, 000		
6	後藤	光雄	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
7	山川	和孝	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
8	河村	郁男	160, 000	41, 689	118, 311	35, 689			6, 000	
9	三宅	繁博	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
10	谷内	開	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
11	篠永	誠司	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
12	山本	照男	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
13	苅田	清秀	160, 000	42, 800	117, 200			42, 800		
14	吉田割	善 三郎	160, 000	41, 845	118, 155	35, 689				6, 156
15	井川	剛	160, 000	0	160, 000					
16	欠	員								
17	原田	泰樹	政務	ß活動費未₽	申請					
18	青木	永六	160, 000	160, 000	0			160, 000		
19	石津日	F代子	160, 000	35, 689	124, 311	35, 689				
20	飛鷹	總慶	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
21	谷	國光	政系	ß活動費未₽	申請					
22	曽我部	派 清	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
23	石川	秀光	160, 000	35, 689	124, 311	35, 689				
24	越智	滋	160, 000	65, 310	94, 690	22, 510		42, 800		
25	西岡	政則	政務	ß活動費未₽						
26	三谷二	つぎむ	160, 000	160, 000	0			160, 000		
f	슬 :	Ħ	3, 520, 000	1, 526, 742	1, 993, 258	435, 386		1, 079, 200	6, 000	6, 156

《議会だより編集委員会》

編集委員 〇印は委員長 〇印は副委員長

◎吉田善三郎 ○石川 剛 吉原 敦 国政 守 三好 平 苅田 清秀 原田 泰樹

〔お問い合わせ先〕

〒 799-0497 愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号(四国中央市議会内) TEL 0896-28-6048